

杜の伝言板

ゆるる

災害ボランティア・NPO活動



サポート募金

赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」助成事業

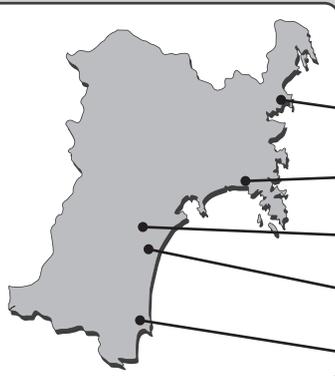


渡波のアットホームな  
地域サロン  
「よってがいん」  
(NPO法人お茶っこケア)



みなさん館で  
お・も・て・な・し  
(NPO法人夢未来南三陸)

特集 復興への道



P2. NPO法人夢未来南三陸

P3. NPO法人お茶っこケア

P4. NPO法人地・LOHAS推進会議

P5. 市民協働による地域防災推進実行委員会

P6. ふれあいの四季

P7. トピックス

WAM助成セミナー開催

助成金を活用して活動を広げよう!

P8. みやぎNPOプラザからのお知らせ

P9. 今月の助成金情報

P10-15. information

# 南三陸で おもてなし

## ようこそみなさん館へ

● NPO法人夢未来南三陸

南三陸町歌津の国道四十五号線沿いにある、南三陸直売所「みなさん館」。みなさん館は、町民や町内の生産者、南三陸で復興支援に取り組みNPOが協働して、オープンした直売所です。「南三陸(みなみさんりく)の「みなさん」が力を合わせて地域づくりを進めるという想いを込めて、みなさん館と名付けました。

この直売所を運営するのが、NPO法人夢未来南三陸です。

### ●●● みなさん館オープンまで ●●●

南三陸町の農業や漁業の生産者は大津波で販路を失い、生活を支える基盤をなくす大打撃を受けました。

この状態を打開しようと生産者や町民有志が集まります。しかし、あまりに被害が大きく、良い方策が見つかりませんでした。そんな時に、震災直後から南三陸町で支援活動を展開していた、公益社団法人アジア協会アジア友の会や登米市のNPO法人故郷まちづくりナイン・タウン(以下、ナイン・タウン)に相談し、

これらのNPOのサポートを受けながら、二〇一一年六月頃から、南三陸町の特産品直売所の開設に取り組みることになったのです。

最初に、町内の生産者に声をかけて約七十名の仲間を募り、夢未来南三陸協議会を立ち上げました。「開業までに行った会議は一〇〇回を超えました。店を構えて販売した経験のある人が少なかったため、店づくりや接客対応についても、ワークショップを行ってみんなで勉強しました」と話すのは、夢未来南三陸の理事でみなさん館館長を務める小野勝良さんです。

一丸となって準備を進め、昨年十月七日にみなさん館がオープンしたのです。そして、今年八月にNPO法人夢未来南三陸を設立し、みなさん館の運営を担っています。

### ●●● みなさん館の活動の広がり ●●●

みなさん館に入って左手が、海産物や野菜、お菓子、復興支援グッズ

などを扱う直売部です。右手の飲食スペース「むすび庵」では、地元のお母さんグループの「なでしこの会」が南三陸の食材をふんだんに利用した食事を提供しています。

また、本格的な厨房設備を備えたレンタル工房もあり、ここを利用してつくられたがんづきやまんじゅうも、直売部の人気商品です。

このほか、今年六月には、ナイン・タウン、なでしこの会との協働で、歌津地区内で弁当の宅配事業を開始しました。ナイン・タウンが弁当の注文を受け、なでしこの会が弁当をつくり、ボランティアが弁当を配達するしくみです。この連絡調整を担うのが夢未来南三陸です。配達区域内であれば誰でも利用することができ、お茶飲み会や会合などにも利



▶みなさん館内の商品説明をする小野館長(右)

用できます。また、なかなか買いたい物に出られない高齢者や一人暮らしの方への安否確認も、配達を行うねらいの一つです。

小野さんは「始まったばかりで、まだ利用者は少ないけれども、どんどん利用してもらえようようにしていきたい」と話します。

### ●●● なくてはならない存在へ ●●●

みなさん館では、多様なニーズに応えられるような品揃えを心がけています。今年十月六日に行われた一周年感謝祭が三〇〇名以上の来客で賑わったことから、地域に根付いてきたことがうかがえます。

「これからは、稲刈りやワカメの収穫などの体験学習も行っていきたい。みなさん館に足を運んでもらう仕掛けもしていきたい」と小野さんは意欲的です。みなさん館を拠点として南三陸の魅力伝えることは、生産者のやりがいや収入、そして南三陸の活性化につながります。今後の取り組みに期待が高まります。

#### NPO法人夢未来南三陸

〒988-0851 本吉郡南三陸町歌津字管の浜57-1  
 ●TEL : 0226-36-2816  
 ●FAX : 0226-25-9277  
 ●E-mail : info-m@minasankan.com  
 ●URL : http://minasankan.com/

# 地域での共生ケアを根付かせる

● NPO法人お茶っこケア

石巻市渡波新千刈のNPO法人お茶っこケア。地域の障がいを持つ方や高齢者の方々が日々の生活を大切にしながら共に生きることができ、る場を維持するために活動しています。代表の糟谷裕之さんは宮城県外出身で、震災後に石巻で被災地支援に参加し、現在は渡波で地域サロン「よつてがいん」を開いています。

## ●●● 地域への想いを継続させたい ●●●

東日本大震災発生以前、千葉県木更津市の宅老所で活動をしていた糟谷さんは、震災後の十月末、震災支援ボランティアとして、石巻市に入りました。

糟谷さんがボランティアとして参加したのは、二〇一一年五月から全国組織の福祉職ボランティアが渡波地区で行っていた入浴支援でした。この入浴支援は民家の風呂を借りて行い、さらに入浴時間の前後にはお茶のみも行っていました。これが、地域サロン「よつてがいん」の前身である「ちよこらら」です。

初めは二週間ほどの滞在予定だった糟谷さんは、ボランティア活動をするうちに、もっと渡波の人々のために何かをしたい、と思い始めます。そして、震災のためにコミュニティが断たれないよう、地域の人たちが寄り合う場所を作りたいと考え、地域に根を張って活動するため、石巻に残る決意をしました。

その後も「ちよこらら」での活動を続けましたが、善意とはいえ、いつまでも民家を借り続けるわけにもいかず、新たな拠点の必要性が生じ始めます。そして昨年六月、あいコープみやぎと以前糟谷さんが活動していた木更津市の宅老所からの支援によって、渡波に新しい拠点となる借家を借りることができました。これが現在の地域サロン「よつてがいん」です。

そこに至るまで、ボランティア仲間、先輩や地域の方々に様々な事を学ばせてもらったという糟谷さん。「地域の方の渡波に対する想いに応えたい」と思えたことが、渡波でよつてがいんの活動を継続すること

になったきっかけです」と当時の活動を振り返って話してくれました。そして、地域に根付いた寄り合える場所を維持するため、今年六月にはNPO法人化しました。

## ●●● 地域に根ざす共生型サロン ●●●

よつてがいんの特徴は「共生ケア」です。障がい者だけ、高齢者だけといった隔たりは作らず、住み慣れた地域の中でお互いが、調和を図り、自分らしく生活できる場所。スタッフは人と人を繋ぎ、「自分の力を信じてもらい、自立してもらいたい」ということをモットーとしながら、利用者が楽しく過ごせるよう心がけています。そのため一つの施設で障がい者に対して、高齢者に対しても、ケアが可能な共生型デイサービス事業所として運営しています。

現在は週三回で月・水・金曜日に活動しています。午前十時頃に集合し、まずは昼食の準備にかりますが、準備から食器の片づけ・掃除といった仕事は、利用者も担います。よつてがいんのスタッフ山内博子さんは、「よつてがいんでは、お年寄りも障がいを持っていても同じ時間を共に過ごすことと、自分でやってみたいと思っただけで行動してもらおう心がけている」といっています。利用者スタッフは、まるで大家族のように温かく、賑やかで、笑



よつてがいんでは利用者、スタッフが一緒に食事の準備をします

いが絶えないアットホームな場所でした。

糟谷さんは最後にこう話しました。「決して自分の団体が自力で立っているような状態ではないですが、渡波で育った方々が震災後も変わらず渡波で過ごしてもらうために、自分たちの活動を継続してゆく」。

よつてがいんは地域の方々への熱い想いが形となった共生ケア型地域サロンでした。

### NPO法人お茶っこケア

〒986-2135 石巻市渡波新千刈140-1  
●TEL/FAX : 0225-98-8350

# 東北の資源に脚光を!

●NPO法人地・LOHAS推進会議  
寄稿・代表理事近江美保

二〇〇八年、約二十年にわたって

マーケティング会社を担って来た私は、「これからの十年を見据え、どんなビジョンをもって進んでいけばいいだろうか」と、周囲の仲間と討論を重ねました。その結果、東北の役割は、農業や漁業、林業などの一次産業の振興だと考え、一次産業を起点とした商品開発や事業開発を支援できる団体を結成することとしました。ちょうど、「LOHAS」や「農商工連携」といった概念が言われ始めた頃です。

一貫して支援できる体制をつくること、事業プロデューサー、中小企業診断士、プランナー、デザイナー、流通事業者等に声がけし、「地・LOHAS推進会議」の名のもと、活動を開始しました。

「地・LOHAS推進会議」の名称には、地域起点、地域から全国へ、世界へとの志で、「LOHAS(lifestyle of health and sustainability)」ビジネス創出支援としてこの思いを込めました。主たる事業は①一次産業の振興支援、②芸術文化の振興

支援としました。

以来、セミナーや展示会開催など啓蒙活動を続け、二〇一一年十二月、NPO法人化。

この間に東日本大震災が発生し、同年六月、宮城県内の工芸家の復興支援を目的としたインターネット通販サイト「手のちからkibouプロジェクト」を開設しました。現在も継続中です。

※手のちからkibouプロジェクト  
<http://www.kibou-tohokunet>

## ●●●資源と文化でつなぐ被災者の心●●●

地・LOHAS推進会議では、これまで縁を築いてきた被災地の団体と協力して、次のような復興支援を行いました。

まず始めに、石巻市雄勝町の被災して流された雄勝石を、仙台市内の保育所の子どもたちと一緒に洗い、磨いて、それに絵を描き、雄勝硯石の箸置きづくりを体験するプロジェクトを行いました。このことで、雄勝の雄勝硯生産販売協同組合を支援

しました。

また登米市津山町にある津山木工芸品事業協同組合の協力のもと、仙台市内、名取市内の仮設住宅で暮らす方々向けに、杉の木片を使った表札づくりイベントを行い、複数の地域から移ってきた仮設住宅のみなさんの顔をつなぐきっかけを作りました。

県外の地域としては、福島県浪江町へ出向いています。浪江町の仮設住宅に住む住民同士の絆を確認してもらうため、地域の特産品「大堀相馬焼」の絵付け教室を実施。絵付け教室では素焼きの湯呑茶碗に馬の絵付けと面白いのメッセージを記しました。この際に協働したのは大堀相馬焼協同組合です。

私たちが大切にしたのは、支援地域の『資源』を最大限に活用し、とも

に活動を行うという視点でした。

## ●●●一次産業を六次産業に●●●

一方、一次産業支援の活動としては、現在「六次産業化」の推進に最も力を入れています。

「六次産業化」とは、生産から加工・販売まで一貫して取組み、一次産業事業者が再生産可能な所得、持続可能な農林漁業を実現するための活動です。この推進の主な支援者に「六次産業化プランナー」がいますが、地・LOHAS推進会議には三人の「六次産業化プランナー」がいます。当推進会議を設立する際、「一次産業の振興を」と考えた創業の想いを、今、現実に行うことができていると感じています。

小さな団体で、活動の社会的影響力も本当に微々たるものだと思いますが、着実に役割を拡げていくことのできていて、メンバー全員、活動にも力が入っています。

これからも、自分たちの活動の社会的役割を信じて、楽しく、情熱をもって取り組んでいきたいと思えます。

### NPO法人地・LOHAS推進会議

〒980-0812 仙台市青葉区片平1-2-27  
ARKAS良覚院603  
●TEL : 022-223-1195  
●FAX : 022-261-2518  
●URL : <http://www.g-lohas.com>



▶昨年5月に行われた雄勝石の箸置き作りの様子

# ゲームでまぼろし！地域の防災

●市民協働による地域防災推進実行委員会

東日本大震災後、自治体レベルでの防災計画の見直しとともに、非常時の対応を公助だけに頼らない、地域ぐるみでの防災意識の必要性が認識されました。

震災から二年半。市民協働による地域防災推進実行委員会（以下、実行委員会）は、仙台市市民協働事業提案制度に「地域で支える防災協働ネットワーク―仙台版体験型そなえゲームの完成と普及活動」を提案し、地域での防災活動を実践的に学べるゲームを開発しました。

## ●●● 経験に基づいた「体験」を ●●●

実行委員会代表の小岩孝子さんは子ども・高齢者・障がい者を支援対象として、仙台市太白区東中田地域を中心に活動するNPO法人FOR YOUにここにこの家の理事長でもあります。

震災発生時、にこにこの家が指定管理者として運営していた東四郎丸児童館に約三〇〇人が避難してきました。児童館は本来この地域の指定

避難所ではなかったものの、この時小岩さんはすぐに避難者の名簿を作成するなど、適切な対応を取ることができました。実は震災の前年、発生が危惧されていた宮城県沖地震に備え、避難所運営のカードゲーム「HUG」を経験していたことが役立つのです。「体験つてすごいと思えました」と小岩さん。

## ●●● 仙台発そなえゲーム ●●●

昨年三月、小岩さんは同様にゲームで防災を学べたら、と考えました。そして地域福祉・防災関係者へ呼びかけ、実行委員会を立ちあげます。メンバーは小岩さんをはじめとする六人。昨年夏から「仙台発そなえゲーム」（以下、SSG）の開発を始め、毎週の検討により三十回以上の修正を加えて、今年五月にようやく試作品の完成にこぎつきました。

HUGは避難所運営のゲームですが、SSGは地域防災をテーマとしています。これは、震災後の六月と十月に行われた、東中田の住民によ

る震災時の振り返りが反映されています。振り返りでは、「警察や消防、救急が機能しない状況も想定して、日頃から地域住民としてできる『備え』があったのでは」という声が聞かれ、公助に加えて、自分で備えること（自助）、地域での助け合い（共助）の大切さを、住民たちが感じていたことがわかりました。「それらを地域の声として発信したいと思いました」と小岩さんは言います。

ゲームは住宅街を想定した地図と、カードを使います。参加者はまず「住民カード」を引いて、架空の住民に成りきります。その後、その住民の立場で「地域や自宅にあったらいいなと思う物や事柄」と、「自分で

できたらいいなと思える活動」を、参加者同士話し合いながら地図上に置いていきます。参加者はゲームを通して「災害に備えるために、自分や地域に何が必要か・できるか」を考え、実践的に学ぶことができます。

## ●●● 地域防災は身近なところから ●●●

ゲームに登場する「自分でできたらいいなと思える活動」には「パパ友をつくる」「町内の清掃活動参加」など、ちょっとした心がけて誰もができるものが多くあります。「つながっておくことが大切」と小岩さんが言うように、挨拶のような日常の些細なつながりが、災害時のお互いの安否確認に繋がります。たとえ『顔見知り』程度であっても、日頃から近所の事情に通じておくことが、非常に切なのです。

ゲームの開発は、県外・県内合わせて一〇〇名もの協力者を得て進められました。多くの人たちのつながりで生まれたゲームが各地で新しいつながりを作ります。今後は学校の防災教育や他地域への普及活動に力を入れていきます。



▶小岩さん（右）による仙台発そなえゲーム実演中

### 市民協働による地域防災推進実行委員会

〒981-1101 仙台市太白区四郎丸字神明16-2  
●TEL/FAX：022-241-0858

# 高齢化進む町の『みんなの足』

●ふれあいの四季

高齢化率の高さが宮城県内で五指に入る山元町では、町民は移動手段を確保するのが難しくなっています。町営の巡回バスが運行しているものの、通院や買い物など町民の外出ニーズは多く、対応しきれていません。

NPO団体ふれあいの四季は、その山元町で住民の生活支援として、主に外出支援を行っている団体です。

## ●●●「ふれあいの」のある山元町を

ふれあいの四季設立のきっかけは二〇一一年二月に角田市で開催された宮城県社会福祉協議会主催の研修会です。代表の渡部孝雄さんは自身が住んでいる山元町内の団地の限界集落化に危機感を感じ、解決のヒントを求めて研修会に参加しました。

そこで講師に紹介されて出会ったのが大河原町のNPO法人ほっとあいの渡邊典子理事長。ほっとあいの渡邊さんは東京の公益財団法人さわやか福祉財団のインストラクターも

務めており、渡部さんは渡邊さんを通じて、さわやか福祉財団の提唱する「新しいふれあい社会の創造によるまちづくり」に共感しました。そして、地域に溶け込んだ福祉を山元町でも実践しようと動き出します。

渡部さんは翌月三月一日にNPO団体ふれあいの四季を立ち上げました。同時にJR常磐線坂元駅周辺に「地域の茶の間」ふれあいステーションの設置も計画。この「地域の茶の間」は、さわやか福祉財団が全国展開している「ふれあいの居場所」づくりで、みんながいきいきと暮らすふれあい、助け合う居場所となるはずでしたが、津波によって設置計画は流れてしまいました。

スタート直後の災難に、渡部さんは途方に暮れましたが、ほっとあいの後押しに支えられて四月から移動式の「ふれあいの居場所」で八か所の避難所を巡回、お茶会を開いてコミュニケーションの場づくりをしなから、さわやか福祉財団からの生活支援物資も配布しました。

## ●●●住民に欠かせない「足」代わり

避難所から仮設住宅への移転に伴い、町内の仮設住宅団地を巡回し、電動アシスト自転車八十台などさわやか福祉財団から送られてきた支援物資の配布活動を経る中で、住民から外出支援の要請もあり、陸運事務所の指導を仰ぎ、生活支援の一部としての外出支援サービスを震災の年の七月から提供するようになりました。

ふれあいの四季のボランティア活動は、会員相互の共助の仕組みとなっています。外出支援は口コミを通じて住民に伝わり利用会員は増え続け、現在では個人会員八十名、団体会員が一〇〇名ほどになりました。それらの会員へ、三名のボランティアドライバーを含む五名体制で外出支援サービスを提供しています。

住民からは福祉車両の導入も要望されていますが、車の維持管理、燃料代、経費負担、そして被災地ゆえの交通事情を取り巻く環境の悪化などにより、ボランティア活動の限界もあり、要望に応える体力はありません。

震災からの復興は徐々に進んでおり、会員の中には一部、仮設住宅から復興住宅へと移った人もいます。しかし、復興が進んでも住民に「足」がない状況は変わりません。



スタッフベストを着用し、外出支援活動中の渡部さん(左)

「これからも住民のニーズは増えていくでしょうね。人手も車両も足りない中で、これが続けていくのはなかなか骨が折れることだけれども、もはや止めるわけにはいけません」と渡部さんは話しています。

ふれあいの四季は今後も山元町民の足代わりとなり、復興する山元町で孤立化する人が出ないよう、活動を続けていきます。

### ふれあいの四季

〒989-2111 亘理郡山元町坂元字上西谷地12-79  
●TEL: 080-3332-6321

## WAM助成セミナー開催 助成金を活用して活動を広げよう！

多くの人に支えられて活動を展開する市民活動の収入源のひとつが助成金です。資金を提供する助成団体は、自分たちの目指す社会の実現のため、同じような目的で直接現場の活動を行っている団体を支援することで、使命の実現を目指しています。独立行政法人福祉医療機構、通称WAMは、支え合いと活気に満ちた地域社会の再生をサポートするため、福祉活動に助成しています。



▶第2部では、参加者同士お互いの活動について活発な意見交換がなされました。

震災後は、東松島市の鳴瀬、野蒜などの地域で支援に入りました。一過性ではない、継続した支援を心がけ、傾聴活動、各種教室の開催など、数々の行事を積み重ねてきました。理事長の村上昌芳さんは、WAMの助成があったことで、きめ細かい支援を長期に継続して展開できたといいます。

WAMでは、様々な手法で傾聴を重ね、コミュニティに溶け込んできたこと、支援員に十分な研修を行い要支援者の心理に配慮した支援で信頼関係を築いてきたことが事業の成果と評価しています。

### ●●●●●震災被災者の生活たて直し伴走事業 ●●●●●NPO法人仙台夜まわりグループ

仙台夜まわりグループは、二〇〇〇年から路上生活者の安否確認を行う夜まわりや炊き出しを行い、現在は、行政や関連機関と連携し路上生活者の自立支援を行っています。

震災後は、そのノウハウを活かして避難所を回り、炊き出しを実施。支援の格差や、避難所や仮設などの集団生活に馴染めず行政の支援施策からこぼれ路上生活にはまっていくなたちを目的にします。そこで助成金を活用し、行政の支援が届きにくい避難所や移動手段がないため日常生活に困難をきたしている方々に物資を届けてきました。また

生活困窮者には食事と情報提供を行い、相談や通院支援などの生活支援を提供。理事長の今井誠二さんは、助成金のお陰で無償ボランティアではなく賃金を払うことができ、スタッフが責任を持って事業を行い、伴奏者としてスキルアップを図ることができたといいます。

WAMでは、行政や医療機関などと連携して効果的な支援ができたこと、聞きとり調査を実施して支援の必要性を数値化した点などを評価しています。

WAM助成事業部の平井良雄さんは、助成をうまく活用できた事例に共通する要因として、「ニーズがきちんと把握できていること」「他団体と連携し、お互いが持っている強みを発揮して効果を高めていること」と語ります。

多くの人の思いが込められた助成金。ぜひうまく活用して、共感を得られる活動を行い、その情報を発信し、次の活動へつなげてください。

### 独立行政法人福祉医療機構(WAM)

〒105-8486 東京都港区虎ノ門4-3-13  
ヒューリック神谷町ビル9F  
●TEL : 03-3438-4756  
●FAX : 03-3438-0218  
●URL : <http://hp.wam.go.jp/guide/tabid/176/Default.aspx>

### ●●●●●被災弱者のこころを支えたい事業 ●●●●●NPO法人LEAF26

それが重要という話がありました。そして、その後、平成二十三年度のWAM助成で被災者の支援活動を行った県内二団体の事例報告がありました。

LEAF26は、一九九二年から青少年の育成や環境保全を目的に自然観察会などを開催してきました。

今年も会計サポーター派遣キャンペーンが実施されます

# この機会にNPO法人会計基準に沿った会計に切り替えましょう!

みやぎNPOプラザ

このページは、みやぎNPOプラザからのお知らせです。

## 会計サポーター派遣キャンペーン 第2弾

### 支援内容

税金関連の相談を除く活動計算書作成業務に関するアドバイスとサポート

### サポート例

- 収支計算書から活動計算書への変更点
- 活動計算書作成に必要な科目の考え方
- 活動計算書の記入例  
(前年度決算もしくは仮決算をもとにアドバイス)
- 注記について
- 事業費と管理費の分け方
- 作成した活動計算書のチェック

### 派遣条件

過去にNPO法人会計基準講座を受講したことがある、もしくはこれから受講する予定であり、会計担当者がある団体

### 派遣期間

平成25年10月15日(火)～平成26年3月15日(土)

### 派遣回数

1団体3回以内、全体で先着80回まで

### 派遣経費

無料

### 申込方法

杜の伝言板ゆるるまで電話・FAX・メールにて、【団体名】【担当者名】【派遣希望日】【派遣場所】をご連絡ください

NPO法人会計基準が不安な法人様はまずコチラ!

## NPO法人会計基準講座

### ■石巻会場

11月18日(月) 石巻市役所仮設会議室11

### ■大崎会場

11月21日(木) 大崎市市民活動サポートセンター

### 内 容

- 両会場
- ・入門編(NPO法人会計基準の概要) 10:00～12:00
  - ・実践編(活動計算書と注記作成のコツ) 13:00～16:00

※1～2月には、気仙沼市、栗原市、登米市、仙台市、亘理町、白石市でも開催予定。  
※講座に関するお問合せも杜の伝言板ゆるるまで

決算時期になって慌てる前に、勘定科目や事業分類の確認も兼ねて、今年も中間決算をして年度後半に備えませんか。

宮城県では昨年とても好評だった「会計サポーター派遣キャンペーン」を今年も実施します。

この「会計サポーター派遣キャンペーン」は、経理や会計などの知識やキャリアを持ち、NPOやNPO法人会計基準の知識を学んだ会計サポーターが各団体の事務所を訪問し、NPO法人会計基準に沿った決算書類の作成業務を支援するキャンペーンです。昨年度は、県内三か所で開催された養成講座を受講した会計サポーター十四名が二人一組となり、一月から三月の三か月間で、三十五団体にのべ五十九回訪問して、会計支援を行いました。

昨年の支援内容は、次のようなものが挙げられます。

- ・ 収支計算書と活動計算書の違い
- ・ 活動計算書の様式
- ・ 管理費と事業費との区分
- ・ 注記の作成方法
- ・ 事業費の按分の考え方
- ・ 貸借対照表に計上する資産
- ・ 減価償却 など

税務に関わる業務以外、財務諸表を作るために必要な内容から、そのために必要な日常業務の流れの確認など、多岐にわたる支援を行った結果、支援を受けた団体の九割以上がサポート内容について『満足』と回答しました。

今年は、十月十五日から三月十五日の五か月間で宮城県内のNPO法人のべ八十団体に、会計サポーターを派遣します。宮城県主催による派

遣なので、費用は無料。一団体三回まで、継続サポートも可能です。

申し込みは、電話やFAX、メールでも受け付けます。事前に相談内容を電話で確認して、都合の良い日程に合わせて会計サポーターを派遣します。ただし、実務に関しては、団体の責任で団体の担当者に行って頂きますので、是非、事前にNPO法人会計基準に関する講座等を受講してください。

今年は、早めの備えでスムーズに市民から見てもわかりやすく信頼性の高い決算書類を作成しましょう。

### 特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

- TEL : 022-791-9323
- FAX : 022-791-9327
- E-mail : npo@yururu.com

## プラザの 無料 NPO相談

法人設立・運営相談

毎週水曜日

会計・税務相談

11/21(木)

法律相談

12/12(木)

各相談要予約 申  
定員3団体(先着) 込

各相談  
13:00～17:00  
(1団体あたり約1時間)

### みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5  
(指定管理者:特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

☎ 022-256-0505

☎ 022-256-0533

✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

### みやぎNPO情報ネット

<http://www.miyagi-npo.gr.jp/>



# 助成金情報

※詳細については、それぞれのホームページ等の要項をご確認ください。

## 住友商事 東日本再生ユースチャレンジ・プログラム 2014年新規—活動・研究助成—

- 助成対象：東日本大震災の被災地の地域再生および被災者の生活再建をめざした以下の活動や研究  
Aコース：ユースが任意のチーム／サークル／グループで取り組む活動や研究  
Bコース：NPO／大学(院)等の組織においてユースが主体的に取り組む活動や研究  
※ユースとは、おおむね10代後半から20代の若者で、主に大学生・大学院生などを想定しています
- 対象団体：下記要件を満たす団体(個人への助成は行いません)  
①被災地や被災者を対象に活動する非営利団体(法人格の有無は不問)  
②被災地や被災者への支援活動の経験があること  
③団体の目的や活動の内容が特定の政治・宗教に偏っていないこと、反社会勢力と一切関わっていないこと
- 助成金額：Aコース／1件あたり10万円以上50万円まで  
Bコース／1件あたり50万円以上300万円まで
- 助成期間：2014年4月1日～2015年3月31日
- 募集締切：11月15日(金)必着
- 連絡先：住友商事株式会社 環境・CSR部  
(担当：森、安田、上崎)  
〒104-8610 東京都中央区晴海1-8-11  
TEL：03-5166-6754、3653、3374  
E-mail：sumisho-youth-challenge@sumitomocorp.co.jp

## 仙台Iゾンタクラブ 女性自立支援事業

- 助成対象：・宮城県内を中心に活動しており、震災復興で活動することが期待される女性団体または個人  
・法人であるかどうかは不問  
・6か月以上の活動実績があること  
※1団体(個人)で1件のみの応募になります
- 助成金額：1件につき10万円(助成件数：3件)
- 応募締切：11月20日(水)
- 連絡先：仙台Iゾンタクラブ事務局  
〒981-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5  
みやぎNPOプラザレターケースNo.43  
TEL/FAX：022-296-0192

## 東北ろうきん復興支援助成金制度

- 対象団体：下記すべてに該当する、現在東日本大震災からの復旧・復興・被災者支援に従事しているNPO団体・ボランティア団体等  
①東北6県に主たる事務所を有していること  
②定款または会則・規約があり、決算報告書または収支報告書が作成されていること  
③活動報告書等の事業概要が容易にわかる資料を作成していること、もしくは活動内容を公開していること  
④法令違反など反社会的行為が認められないこと、また、宗教的活動・政治的活動を行っていないこと

⑤当金庫に助成金の受取口座を開設できること  
※労働組合や労働団体、自治会、町内会等については、助成対象外

- 助成金額：1団体あたり30万円(総額300万円)
- 募集締切：11月20日(水)当日消印有効
- 連絡先：東北労働金庫 営業推進部 営業店支援課  
〒980-8661 仙台市青葉区北目町1-15  
Ace21ビル  
TEL：022-723-1118 FAX：022-215-3169  
E-mail：suishin@tohoku-rokin.or.jp

## 2014年度 JT NPO助成

### ～地域コミュニティの再生と活性化に向けて～

- 助成対象：日本国内において地域社会の核となって実施する、地域コミュニティの再生と活性化につながる事業  
よって、地域に根差した活動で、多様な年代層を対象とした取り組みを優先
- 対象団体：2013年9月30日時点で、法人格を有して1年以上の活動実績を持つ、公益性を有し利益を追求しない非営利法人
- 助成金額：1件当たり年額最高150万円(40件程度)
- 助成期間：2014年度内に実施を計画している事業  
数件程度、継続助成を行う場合もあります
- 募集締切：11月20日(水) 必着
- 連絡先：日本たばこ産業株式会社 CSR推進部 社会貢献室  
〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル  
TEL：03-5572-4290 FAX：03-5572-1443

## 福祉住宅建築支援

- 助成対象：福祉住宅(個人住宅)や福祉小規模集合住宅として新築またはリフォームした建築主  
原則として平成24年1月以降に工事が完了した物件
- 助成金額：1件あたり5万円～最高30万円  
(総額300万円の範囲内)
- 募集締切：11月30日(土) 必着
- 連絡先：公益財団法人ノーマライゼーション住宅財団  
〒060-0042 札幌市中央区大通西16丁目2-3  
ループル16 9F  
TEL：011-613-7551 FAX：011-612-8431  
E-mail：zaidan@tsuchiya.co.jp  
URL：http://www.normalize.or.jp/

## 「きれいな川と暮らそう」基金

- 助成対象：水資源確保・河川美化清掃・水質保全などの水環境保全活動
- 対象団体：きれいな川、親しめる川とともに暮らすため、川や水辺で活動を行っている学校や市民団体
- 助成金額：1団体あたり最大100万円
- 募集締切：11月30日(土) 消印有効
- 連絡先：公益社団法人日本河川協会  
「きれいな川と暮らそう」基金 事務局  
〒102-0083 東京都千代田区麴町2-6-5  
麴町E・C・Kビル3F  
TEL：03-3238-9771 FAX：03-3288-2426  
E-mail：kikin@japanriver.or.jp

## 11/24 うーん?分かった!といえるパソコン講座(東松島市講習)

.....  
「さぁこれからパソコンを使ってみよう!」「パソコンを使っているけどちょっと?」パソコンを使うと思わぬところで...そのような方向けに、パソコン講座を開催しています!

- 日 時: 11月24日(日) 10:00 ~ 15:00  
※悪天候や会場予約状況によっては変更する場合があります  
心配の方は事前にお問い合わせの上、申し込みください
- 場 所: 東松島市老人福祉センター(小松字上浮足252-3)
- 参加費: 1,000円
- 申込方法: 下記連絡先までお問い合わせください
- 主 催: NPO法人ばざーる太白社会事業センター(略称ビートスイッチ)
- 連絡先: TEL: 070-5320-8928, 022-292-7160  
FAX: 022-292-7162

## 11/27 心配ご無用! NPOのための税金初級講座

.....  
NPOに関係する税金の概要のほか、源泉徴収が必要な報酬や料金、年末調整のしかた、NPO法人と任意団体との課税の違いなどを分かりやすく学びます。今年度より会計の担当になった方はもちろんのこと、改めて確認したい方もこの機会にぜひご参加下さい!

- 日 時: 11月27日(水) 13:30 ~ 16:30
- 場 所: みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 講 師: 平野由紀子氏(税理士)
- 対 象: NPOの代表、役員、会計担当者など
- 定 員: 20名
- 参加費: 1,000円
- 申込方法: 所定の参加申込書にご記入の上、電話、FAX、郵送、メールにて申込み
- 主 催: 宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・実施: NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連絡先: みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

## 11/30 新出生前診断学習会「あなたはどうか考えますか?」

.....  
妊婦の血液から胎児のダウン症などの障害を調べる、新型出生前診断が始まりました。この診断は、従来の検査に比べて安全

で簡単にできる一方、「異常」が見つければ、人工妊娠中絶という流れにもつながりかねません。この問題について、障がい当事者の立場、親の立場、支援する立場など、それぞれの思いをお聞きしながら、多くの皆さんと考えたいと思います。

- 日 時: 11月30日(土) 13:30 ~ 15:30
- 場 所: 仙台市福祉プラザ 第2研修室  
※駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください
- 話題提供: 杉山裕信氏(CILたすけつ) 障害当事者の立場から  
小林厚子氏(障碍児と共に歩む会) ダウン症の家族の立場から  
石川雅之氏(共育を考える会)
- 参加費: 無料
- 主 催: 共育を考える会
- 連絡先: 〒983-0834 仙台市宮城野区松岡町17-1-102  
NPO法人妻の会内  
TEL: 022-299-1279  
E-mail: muginokai@k5.dion.ne.jp

## 12/3 NPO法人会計基準講座・実務編&ソリマチ「会計王14」説明会

.....  
日々の会計業務をどう進めれば、うまく決算できるのだろうか?そんな悩みを持つ会計担当者の方も多いのではないのでしょうか。この講座では、会計業務をスムーズに進めるための業務の流れや実務について学びます。午後には会計に関する個別相談会と会計ソフト「会計王14」の説明会も同時開催します。

- 日 時: 12月3日(火)10:00 ~ 16:00
- 場 所: パレットおおさき 第二研修室・視聴覚室
- 内 容: 【NPO法人会計基準講座・実務編】  
・日常の会計業務の実務について  
時間: 10:00 ~ 12:00  
講師: 瀧谷和隆氏(税理士)  
定員: 20名(先着順) 主催: 宮城県【会計個別相談会】  
・市民活動団体の会計に関する個別相談会  
時間: 13:00 ~ 16:00  
相談員: 瀧谷和隆氏(税理士)  
定員: 3団体(先着順) 主催: 宮城県【会計王14説明会】  
・会計ソフト「会計王14」の機能紹介・体験  
時間: 13:00 ~ 14:30  
定員: 20名(先着順)  
主催: NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 参加費: 無料
- 申込方法: 下記まで、団体名、参加者名、連絡先をご連絡ください
- 連絡先: NPO法人杜の伝言板ゆるる(連絡先は裏表紙下部をご覧ください)

## 情報をお待ちしています

- 申込方法: 問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要も添付)、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です!**
- 締切: 毎月15日(翌月10日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。  
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人杜の伝言板ゆるる  
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6  
TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327  
e-mail:npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト「みやぎNPO情報ネット」

<http://www.miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。お問い合わせは、[info@miyagi-npo.gr.jp](mailto:info@miyagi-npo.gr.jp)まで

の現実と、まだまだ弱い立場にある女性の現実を踏まえ「男の幸せ」、「女の幸せ」について考えてみましょう。

- 日 時：11月23日(土・祝) 13:30～15:30
- 場 所：アエル28F エル・ソーラ仙台 研修室
- 講 師：吉田浩氏(東北大学大学院経済学研究科教授)
- 参加費：300円(お茶代)
- 託 児：6か月以上小学校1年生まで(しょうがいのあるお子さんや上のお子さんについてもご相談ください)  
利用料：子ども1人/1回300円  
申込締切：11月14日(木)  
※先着順、定員になり次第締切  
申込先：エル・ソーラ仙台 管理事業係  
TEL：022-268-8044 FAX：022-268-8045
- 申込方法：下記連絡先までご連絡ください  
※イベントと託児の申込先は異なりますのでご注意ください
- 申込締切：11月20日(水)
- 主 催：公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 企 画：ジェンダーセブン
- 連絡先：ジェンダーセブン  
FAX：022-249-1650  
E-mail：gender7seven@yahoo.co.jp

## 11/23 仙台湾の海岸林の再生を目指して —3.11大津波からの復興のとりくみ—

.....

東北地方太平洋岸を襲った巨大津波は、仙台湾の海岸林をなぎ倒しその背後に広がる地域に大きな被害をもたらしました。海岸の防災林について調査研究をしてこられた小山晴子さんに、仙台湾の防潮林のなりたちや津波との関わりについて、映像をまじえてお話いただき、海岸林の再生と復興について考えます。

- 日 時：11月23日(土・祝) 13:30～15:30
- 場 所：エル・パーク仙台セミナーホール  
(仙台三越定禅寺通り館5F)
- 講 師：小山晴子氏(科学教育研究協議会会員)
- 参加費：300円(資料代含む)
- 託 児：6か月以上小学校1年生まで(しょうがいのあるお子さんや上のお子さんについてもご相談ください)  
利用料：300円(子ども1人/1回)  
申込締切：11月14日(木)  
※先着順、定員になり次第締切  
申込先：エル・ソーラ仙台 管理事業係  
TEL:022-268-8044 FAX:022-268-8045
- 主 催：公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 企 画：21世紀をひらくみやぎ女性のつどい
- 連絡先：21世紀をひらくみやぎ女性のつどい  
TEL：022-275-7672(担当：竹内)

## 11/24 ストレス解消ワークショップ

.....

「リラックスしたい」「自分らしくいたい」「ここにもっと余裕がほしい」… 参加者同士のペアワークの対話・分かち合いの他、ストレスを緩和・解消するセルフコントロール法として、心理ワークをします。カフェでお茶を飲みながら、ご自分を解放する時間を過ごしてみませんか。

- 日 時：11月24日(日) 10:00～12:00 ※開場：9:30
- 場 所：NPOこころの休憩所 Sawa's Cafe  
(仙台市青葉区上杉2-4-21リバーシティ上杉1F)
- 内 容：・ペアワーク～語り合い～ ・分かち合い

・心理ワーク「リフレーミング」  
講師：大山佳世(心理カウンセラー)

- 参加費：3,000円(飲み物代別。ソフトドリンク1杯(300円)をご注文ください)  
NPOこころの休憩所会員は、飲み物代300円をサービスします
- 対象：職場のストレスを緩和・解消したい方、ストレスと上手に付き合いたい方、ご家族を介護している方、ご家族を支えている方、介護・看護・福祉に関わる方、こころのケアに関わる方、被災支援に関わる方 ※性別を問いません
- 定 員：10名【予約制】先着順
- 主 催：NPOこころの休憩所
- 連絡先：NPOこころの休憩所 Sawa's Café  
TEL：022-797-5114  
E-mail：sawas\_cafe@love.plala.or.jp

## 11/24 国際基準「スフィア」にみる男女共同参画の視点

.....

災害支援の国際基準として広く活用されている「スフィア基準」。その国際的な視野に立って、「災害と男女共同参画」を考えます。日本の被災地で、女性たちが経験した/している困難は、世界共通のものなのでしょうか？

- 日 時：11月24日(日) 13:30～15:30
- 場 所：エル・パーク仙台 ギャラリーホール  
(141ビル 仙台三越定禅寺通り館6階)
- 講 師：池田恵子氏(静岡大学教育学部教授、静岡大学総合防災センター兼任教員)
- 定 員：100名(先着順)
- 参加費：無料
- 託 児：6か月以上小学校1年生まで(しょうがいのあるお子さんや上のお子さんについてもご相談ください)  
利用料：子ども1人/1回300円  
申込締切：11月14日(木)  
※先着順、定員になり次第締切  
申込先：エル・ソーラ仙台 管理事業係  
TEL：022-268-8044 FAX：022-268-8045
- 主 催：公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 企 画：NPO法人イコールネット仙台
- 連絡先：エル・パーク仙台 市民活動スペース  
TEL：022-268-8301 FAX：022-268-8316  
E-mail：park-space@sendai-l.jp

## 11/24 My Will Video 作成講座 プレ企画 記念講演「後から生まれた君たちへ」

.....

自分が生きている証を画像・映像で残す“My Will Video”。撮りためた写真や動画を使って、あなたの「遺言」をビデオで作成しましょう。第一回は、マイノリティのための葬送準備ノート“My Will Note”の作成で知られているただまるとみさんをお呼びして、お話をうかがい対話を行います。

- 日 時：11月24日(日) 14:00～16:00
- 場 所：仙台市中央市民センター 会議室
- 講 師：ただまるとみ氏(企画編集室「ゆじょんと」代表)
- 参加費：500円(資料代)
- 申込方法：氏名、連絡先を明記の上、FAX、メールにて申込み
- 主 催：映像カフェせんだい(仙台市民メディアネット)
- 連絡先：(担当：久保田)  
FAX：022-395-2690

- 申込方法：不要
- 主催：NPO法人水・環境ネット東北、せんだいメディアテーク
- 連絡先：TEL：022-723-1390 FAX：022-723-1391  
E-mail：mizunet@mizunet.org

## 11/20 疑問を解決! NPO法人設立講座

定款作りや設立総会の開催など、NPO法人設立の道のりにおいて欠かせないポイントをわかりやすくお伝えします。団体の活動にあった組織作りを目指すためにも法人化するメリット・デメリットについて学んでいきましょう!

- 日時：11月20日(水) 14:00～16:00
- 場所：みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 講師：大久保朝江氏(NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事)
- 内容：★NPO法人設立までの流れ  
★法人化のメリットとデメリット  
★定款づくりのポイント
- 対象：NPO法人化を考えている任意団体の方、NPOの活動に興味のある方
- 定員：20名(申込先着順)
- 参加費：800円
- 申込方法：所定の参加申込書にご記入の上、電話、FAX、郵送、メールにて申込み
- 主催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・実施：NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連絡先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

## 11/22 全日本おばちゃん党 来仙! ～震災後の東北に元気と笑いと突っ込みを～

「今の世の中、おかしいと思っているのは自分一人じゃない。緩やかに連携して突っ込み力を鍛えまひよ!」と、維新八策ならぬ「おばちゃん党はささく」をつくり、女性目線で身近な話から政治、経済、外交問題まで幅広くゆる～くつながるネット井戸端会議の参加者は今や7,200人。そのパワーとパロディに染まる2時間半をご一緒しませんか?

- 日時：11月22日(金) 18:30～21:00
- 場所：エル・パーク仙台5階 セミナーホール
- 講師：谷口真由美氏(大阪国際大学准教授、全日本おばちゃん党代表代行)
- 内容：★講演 ★参加者とのフロアトーク
- 定員：100名(定員になり次第締切)
- 参加費：500円
- 託児：対象：6か月以上小学校1年生まで(しょうがいのあるお子さんや上のお子さんについてもご相談ください)  
託児利用料：300円(子ども1人/1回)  
申込締切：11月14日(木)  
※先着順、定員になり次第締切

## 縦覧中

NPO法人の設立を新しく申請した団体				宮城県等所轄分9月11日～10月10日 仙台市所轄分9月11日～10月10日
団体名	所在地	活動内容	受理日	
宮城県等 セミナ～レ	気仙沼市	障害児者及びその家族に対する福祉サービスに関する活動	9/19	
宮城県等 日本LGBT連盟	仙台市	LGBT(女性同性愛者、男性同性愛者、両性愛者、トランスジェンダー)の尊厳及び人権擁護に関する啓発事業等	10/9	

- 申込先：エル・ソーラ仙台 管理事業係  
TEL：022-268-8044 FAX：022-268-8045
- 申込方法：所定の申込書に記入の上、FAX、メールにて申込
- 申込締切：11月15日(金)
- 主催：公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 企画：Lネット
- 連絡先：Lネット  
FAX：022-277-1720  
携帯：070-5329-6780  
E-mail：lnet5piece@gmail.com

## 11/23 第38回全国学童保育指導員学校東北 会場in宮城

学童保育は、働きながら子育てするうえでなくてはならない施設です。どのように子どもたちの生活をつくるのか、子どもたちが安全でいきいきとした生活が送れるよう、学童保育と指導員の仕事・役割について、学び交流しましょう。学童保育関係者以外の方にも興味深い内容がいっぱいです。ぜひお誘い合わせてご参加くださるようお願いいたします。

- 日時：11月23日(土・祝) 10:00～16:00
- 場所：宮城学院女子大学(仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1)
- 内容：★全体会(10:00～12:00)  
全体講義「悩みあい、語りあい、祈る思いで未来をつむぐー学童保育というたからもの」  
講師：庄井良信氏(北海道教育大学大学院教授)  
★講座(13:00～16:00)  
佐藤秀明氏(NPOここねっと発達支援センター緊急こどもサポートチーム代表)による特別講座を含め、全10講座。講師は全国学童保育連絡協議会の役員も務めるベテランの指導員や東北ゆかりの研究者の方たちです。  
※詳細は下記HPをご確認ください
- 参加費：2,000円  
東日本大震災被災地沿岸部市町村の学童保育指導員の受講料は、全国各地の学童保育関係者からの「東日本大震災学童保育支援義援金」にて援助しますので無料になります。
- 申込締切：11月8日(金)
- 主催：宮城県学童保育緊急支援プロジェクト
- 連絡先：TEL：090-3642-4327(飯田)  
E-mail：miyagi\_gakudou0311@yahoo.co.jp  
URL：http://miyagi-gakudou.cocolog-nifty.com/

## 11/23 第4弾 防災・復興 男女共同参画でつながる明日へ 講演「女の幸せ 男の幸せ」

被災地における男性の問題が上ってきています。男性優位の社会が形成されてきた背景から現代社会における男性受難

NPO法人に認証された団体				宮城県等所轄分9月11日～10月10日 仙台市所轄分9月11日～10月10日
団体名	所在地	活動内容	認証日	
宮城県等 NALUの会 サポートセンター	栗原市	被災地への支援物資の配布、復興のための事業の企画・立案、被災地でのイベント開催等	10/3	
仙台市 地域福祉活動 研究会	青葉区	地域福祉実践活動(各種教室等)事業、地域福祉の人材育成事業、地域福祉の普及・啓発事業等	10/7	

宮城県の  
NPO法人数 **739** 団体  
宮城県等所轄：339団体 ※2013年  
仙台市所轄：400団体 10月10日現在

- 申込方法：所定の申込用紙に記入の上、電話、FAXにて申込
- 主催：仙台市(子供未来局子育て支援課)
- 連絡先：仙台市子育てふれあいプラザのびすく泉中央  
TEL：022-772-7340 FAX：022-375-0671

## 11/16 みやぎ発達障害サポートネット 一般公開セミナー 16 自閉症スペクトラム児者への支援のあり方 ～構造化の基礎～

.....

自閉症スペクトラム児者への支援のあり方とは。特性理解に基づいて、構造化の基礎を学びます。構造化とはどのようなものなのか。なぜ必要なのか。具体的な支援のあり方を正しく知り、理解を深め、日常に活かしましょう。

- 日時：11月16日(土) 10:00～12:00(開場9:30)
- 場所：エル・パーク仙台 セミナーホール1・2
- 講師：加藤潔氏(札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる所長)
- 定員：130名(定員になり次第締切)
- 参加費：一般3,000円、サポートネット正会員 無料  
サポートネット賛助会員・通信会員 1,500円
- 申込方法：件名を「公開セミナー申込み」とし、氏名、電話番号を明記の上、TEL、FAX、メールにて申込  
申込後1週間をめぐり、下記振込先まで参加費を振込  
七十七銀行 名掛丁支店 口座番号：6020798  
名義：特定非営利活動法人みやぎ発達障害サポートネット
- 主催：認定NPO法人みやぎ発達障害サポートネット
- 連絡先：TEL：022-265-5581 FAX：022-352-7088  
E-mail：mddsnet@yahoo.co.jp

## 11/17 講演会「忘れかけた心をあなたに」

.....

皆様に「忘れられた心」について改めて見つめなおしてもらいたい。誰でも多かれ少なかれ日常生活に不安や悩みを抱えていると思います。社会や家庭での悩み、さらには地球環境問題など、解決の糸口をわかりやすく丁寧にそして熱く、皆様の心に届けます。

- 日時：11月17日(日) 18:45～(開場18:15～)
- 場所：青年文化センター(日立システムズホール仙台)  
(仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5)
- 講師：寿ダルマ氏(NPO法人コンパストウキョウジャパン代表)
- 参加費：1,000円(中学生以下は無料)
- 託児：あり
- 主催：NPO法人コンパストウキョウジャパン

- 連絡先：TEL：022-222-9281 FAX：022-226-2277

## 11/18 子どもをとりまく豊かな環境づくり 18 ～遊びを通した子どもの心のケアと地域の再生～

.....

被災から3年目を迎え、仮設から復興住宅へと、また新たな地域づくりに取り組む時期を迎えました。被災地の子どもの心のケアや地域づくりに関わるみなさんと、子どもが能動的に遊べる場づくりや、見守る人の輪づくりを含めた環境づくりについて語り合いたいと思います。

- 日時：11月18日(月) 19:00～21:00
- 場所：エル・ソーラ仙台 大研修室(アエル28階)
- 話題提供：武山美佳氏(北上プレーパーク有志の会代表)  
須永力氏(日本冒険遊び場づくり協会理事、東日本大震災被災地支援事業チーフコーディネーター)
- 託児：対象：6か月以上小学校1年生まで  
(しょうがいのあるお子さんや上のお子さんについてでもご相談ください)  
託児利用料：300円(子ども1人/1回)  
申込締切：11月10日(日)  
※先着順、定員になり次第締切  
申込先：エル・ソーラ仙台管理事業係  
TEL：022-268-8044 FAX：022-268-8045
- 主催：NPO法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク  
公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 連絡先：NPO法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク  
TEL：022-264-0667  
E-mail：asobo@coral.plala.or.jp

## 11/20 考えるテーブル 四ツ谷四方山考現学3 20 仙台・隠された水の道～広瀬川に生かされた街～

.....

かつて仙台的街を潤した四ツ谷用水を題材に、水環境や水循環について参加者みんなで話し合います。未来に残したいこと、伝えたいことは何か。杜の都・水の都のつくり方について考える、昨年度に続く第3回目です。

- 日時：11月20日(水)14:00～16:00
- 場所：せんだいメディアテーク6F ギャラリー 4200  
(仙台市青葉区春日町2-1)
- 講師：石垣喜嗣氏(八幡地区四ツ谷用水復興事務局長、青葉区八幡町研究会代表)
- 参加費：無料

### かほく「108」クラブ通信 河北新報印刷株式会社

河北新報印刷株式会社は2002(平成14)年3月1日に設立。工場は仙台市泉区明通にあり、「河北新報印刷センター」として03年8月に完成、同12月31日に全面稼働しました。

1時間に17万部印刷できる高速オフセット輪転機を4セット備えた河北新報の印刷拠点です。

印刷センターは建物全体が免震構造になっており、東日本大震災でも被害はゼロ。自家発電を使い当日から休むことなく新聞を印刷できました。

現在、従業員は約80人です。河北「108」クラブに協力するなど、社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。



▲紙面の品質を厳しくチェック

に長町・笹谷街道に遊びに来て下さい!

- 日 時：11月9日(土) 11:30～14:00
- 場 所：太白区・笹谷街道
- 主 催：長町まざらいん、仙台長町紙芝居実行委員会
- 連 絡 先：TEL/FAX：022-342-1579(担当：田代)

### 11/11 第13回 芸能ボランティアふれ愛の集い ～思いやりと温かい絆を大切に～ (出演者・ボランティアスタッフ募集)

- 日 時：11月11日(月) 10:00～17:00 (第1・2部)  
11月12日(火) 10:00～15:00 (第3部)
- 場 所：仙台市福祉プラザ2階 ふれあいホール
- 内 容：★第1部 芸能の部  
★第2部 交流会(17:00～ 2階レストラン)  
★第3部 語り、朗読、詩吟、ハーモニカ演奏、  
寸劇・ラジオ歌謡曲コンクール
- 参 加 費：入場整理券500円、交流会参加の方は会費1,500円  
飛び入り大歓迎
- 主 催：芸能ボランティアの集い実行委員会、  
ボランティアサークルこだま会、北日本児童文化協会
- 連 絡 先：芸能ボランティアの集い実行委員会  
〒981-3214 仙台市泉区館2-24-7  
TEL/FAX：022-376-2975  
携帯：090-2889-7474(担当：小磯)

### 11/12 低山探訪会 第5回「紅葉の不動尊公園の周辺をハイキング」

溪流沿いにゆっくり紅葉を見学しながら歩きます。

- 日 時：11月12日(火) 9:30～15:00  
※荒天の場合中止(事務局より連絡します)
- 集合場所：不動尊公園キャンプ場駐車場 9:30集合  
(丸森町字不動64-1)
- 定 員：20名(先着順) ※体力度は泉ヶ岳を登れる程度
- 参 加 費：300円
- 持 ち 物：昼食、飲料、雨具、帽子、ポール、手袋、保険証(コピー可)  
※山登りできる服装と靴でお越しく下さい
- 申込方法：下記連絡先までご連絡ください
- 主 催：NPO法人 宮城県森林インストラクター協会
- 連 絡 先：〒981-0121 利府町神谷沢字菅野沢41  
TEL/FAX：022-255-8223  
※当日連絡先  
TEL：090-6221-7846(蜂谷)、  
090-7798-4633(島貫)  
当日欠席の場合は必ずご連絡ください

### 11/12 市民のための印刷物デザインレイアウト講座

手に取ってもらい読んでもらうための、団体やお店の印刷物をデザインするのは大変ですね。デザイン・レイアウトの基礎を知っていれば、見違えるような印刷物が作れます。易しく分かりやすく、デザイン例などを交えながらの講座です。

- 日 時：11月12日(火) 19:00～20:30
- 場 所：仙台市民活動サポートセンター 研修室2
- 講 師：真山正太氏(グラフィックデザイナー)
- 定 員：15名(申込受付順)
- 参 加 費：1,000円
- 主 催：一般社団法人メディアデザイン
- 連 絡 先：〒980-0801 仙台市青葉区木町通1-1-11  
朝日プラザ北一番丁1階  
TEL：090-3049-0613 FAX：022-224-5308  
E-mail：kouza@mediadesign.jp  
URL：http://mediadesign.jp

### 11/12 登米パソコン教室 ワードで「カレンダー」を作ろう

- 日 時：11月12日(火) 10:00～12:00  
11月15日(金) 19:00～21:00
- 場 所：迫にぎわいセンター(登米市迫町佐沼字西佐沼70)
- 参 加 費：2,000円
- 申込方法：下記連絡先まで電話にて申込
- 申込締切：受講日前日まで
- 主 催：NPO法人パソコン・ネット・みやぎ
- 連 絡 先：〒987-0511 登米市迫町佐沼字西佐沼70  
迫町にぎわいセンター内  
TEL：0220-21-5262

### 11/15 「せんだい子育てカフェ」 せんだい子育て支援ネットワーク交流会

仙台市内で子育て支援の活動をする機関や団体が活動している地域や分野の枠を乗り越えてお互いの活動を知り合い～つながりあう。

- 日 時：11月15日(金) 13:30～16:00(受付:13:00)
- 場 所：エルパーク仙台6F ギャラリーホール
- 内 容：★事例発表 ★ワールドカフェ形式による交流  
★支援者同士～つながる～時間
- 対 象：仙台市内で乳幼児の子育て支援活動を行っている機関・団体に所属されている方
- 定 員：100名程度

## ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2013.10.16現在)敬称略

#### ●正会員 50名

- ★仙台市 ●高浦康有 ●梨本雄太郎
- ★山元町 ●NPO法人住民互助福祉団体ささえ愛山元

#### ●賛助会員 83名

- ★仙台市 ●生活共同組合あいコープみやぎ

## 会 員 募 集

杜の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営や、それに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊杜の伝言板ゆるるは市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	3,000円
賛助会員NPO	5,000円
賛助会員企業・団体	20,000円

■会員には毎月「月刊杜の伝言板ゆるる」が届きます。  
※正会員以外は、総会での議決権がありません。

#### 郵便振替口座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる  
(会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。)

# information

10月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。  
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

## ボランティア情報

### パソコンボランティア養成講座 ～肢体不自由、視覚障がいがある方等への、 パソコン操作・学習支援～

パソコン等ICT（情報通信機器）関連機器等は、「人と人」「人と社会」をつなぐ可能性がある大切な手立て（コミュニケーションツール）の一つであると考えて、これら機器の活用を必要とする障がいがある人の支援者を養成します。

- 日 時：11月16日、11月30日、12月7日、12月14日  
（いずれも土曜、9:30～17:30）  
予定：90分×16講義
- 場 所：東北福祉大学（仙台市青葉区国見1）  
※構内の駐車場は利用できません。
- 内 容：人権尊重・権利擁護など障がい者支援に関わる価値観の育成並びに、社会福祉及び障がい者福祉の基礎知識やパソコンボランティアの活動の実際などについて、座学あるいは演習形式で学びます
- 受講対象：障がい者福祉に理解と熱意があり、文章作成、Web検索、メール等日常的にパソコンを利活用するなど、情報通信技術について一定の知識・技術がある方（18歳以上）
- 定 員：10名（先着順）
- 受講料：1,000円（テキスト代）
- 申込方法：下記連絡先までご連絡ください
- 主 催：一般財団法人宮城県肢体不自由児協会
- 連絡先：TEL：022-293-2902 FAX：022-293-2905  
E-mail：msk@bc.wakwak.com

### 月刊ゆるる 情報ボランティア募集！

月刊社の伝言板ゆるるの発行には、県内のNPO・市民活動の情報収集が欠かせません。情報収集は、新聞記事や団体のニュースレター、チラシ、ホームページなど多岐に渡ります。ぜひ、私たちの活動の要となる情報収集作業にボランティアとして活動してみませんか？

- 活動日時：平日9:30～17:30の間で60分以上活動できるご都合の良い日
- 活動場所：NPO法人杜の伝言板ゆるる事務局（榴岡小学校向い）
- 活動内容：事務局内での情報収集、整理（新聞切り抜き、ファイリング等）
- 申込方法：電話・メールにてご連絡ください
- 募集主体：NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連絡先：NPO法人杜の伝言板ゆるる事務局（連絡先は、裏表紙下部をご覧ください）

## イベント

### 11/6 フラワーセラピーショップ「キャロブラン仙台」 フラワーセラピー教室「花あそび空間」

フラワーセラピー研究会の啓蒙普及と、会員の活動サポートを目的としたアンテナショップです。主にオーストラリアのワイルドフラワーとリースやかご、リボン等フラワーアレンジに必要なグッズを販売します。また、出店期間中、「花遊び空間（フラワーセラピー教室）」を開催します。

- 日 時：11月6日（水）～11月12日（火）  
10:00～15:00（開場13:00）  
※10日、11日はお休み
- 場 所：みやぎNPOプラザ 短期ショップスペース（仙台市宮城野区榴ヶ岡5）
- 内 容：★販売品  
オーストラリアンワイルドフラワー、花器、かご類、花用資材、手作り品  
★花あそび空間「リボンで作るコサージュ」  
（一般の方向けフラワーセラピー教室）  
11月9日（土）13:00～15:00  
参加費2,000円、下記連絡先まで申してください
- 主 催：フラワーセラピー研究会 仙台地区
- 連絡先：携帯：090-9428-4342（上野）  
FAX：022-274-0961

### 11/7 みんな de 集まる手しごとワークショップ 「クリスマスリースを作る会」

お気に入りのパーツを選んで、オリジナルのクリスマスリースを作ります。作品ができたなら、テーブルを囲んでのおしゃべりタイム。ゆったり楽しい時間を過ごしましょう。

- 日 時：11月7日（木）、14日（木）、21日（木）※28日（木）は休み  
午前の部10:00～12:00 午後の部13:00～15:00
- 場 所：亘理町字中町22（WATALIS工房隣の白い箱型の建物）
- 講 師：小川百恵氏、齋藤真奈美氏（手しごと愛好家）
- 定 員：先着20名
- 参加費：無料
- 申込方法：電話、もしくはWATALISに直接お越しいただいて申込
- 主 催：宮城県亘理町てしごとプロジェクト・一般社団法人WATALIS
- 連絡先：TEL：0223-35-7341

### 11/9 仙台長町紙芝居フェスティバル ～神出鬼没・あふれる笑顔～

昨年にひきつづき、今年も市内で活動する紙芝居屋さんが長町・笹谷街道に集結します。当日は、懐かしい紙芝居の拍子木の音が街中に響きます。ぜひ、いろいろな紙芝居を楽しみ

知って、つながる!

# みやぎNPO フォーラム 2013

11/16

土

時間 10:00~16:30

会場 みやぎNPOプラザ全館

日々、地域や社会の課題に向き合い、縁の下の力持ちとして活動するNPOと市民がもっとつながる場を作りたい!と今年もNPOフォーラムを開催いたします。「NPOってどんなことをしているの?」という方から、長年NPO活動に取り組んでいる方まで、誰でも気軽に参加できるプログラムが満載です。

## 交流サロン 開催プログラム

10:00▶12:00

**【講座】 活動をより印象的にアピール!  
NPOのための話し方セミナー**

- 講師: 赤間裕子さん  
(ヴォイス&トーク代表、声と話し方コンサルタント、フリーキャスター)
- 対象: NPOや市民活動団体のメンバーの方
- 定員: 40名(申込先着順) ■参加費: 1,000円

13:00▶15:00

**【パネルディスカッション】  
みやぎの若手NPOリーダーに聞く!  
~NPOで活動するという生き方~**

- パネリスト(50音順)  
遠藤一恵さん(NPO法人パソコンママネット理事長)  
齋藤勇介さん(NPO法人子育て応援団ひよこ理事長)  
千葉和義さん(NPO法人Azuma-re代表理事)
- コーディネーター  
大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)
- 対象: どなたでも ■参加費: 無料

15:30▶16:30

**【交流会】 つなげようNPOの輪**

- 対象: どなたでも ■定員: 40名(要事前申込)
- 参加費: 500円

## みやぎのNPOひろば

### 第1会議室

10:30▶13:00

**HAPPY DOLL PROJECT**

(実施: ARTS for HOPE)

自由に素材を組み合わせ、世界で1つのオリジナル人形を完成させるワークショップです。

■定員: 20名 ■参加費: 無料

①13:30~ ②14:15~

**今、気になるタブレットをさわってみよう!**

(実施: NPO法人ICT支援NPOネットワーク宮城)

タブレットを使ってみたい、という皆さま。一緒に楽しみながらタブレット体験をしましょう。

■定員: 各回5名 ■参加費: 無料

### 第3会議室

10:30▶11:30

**あなたの心によりそう傾聴ボランティア**

(実施: 仙台傾聴の会)

傾聴ボランティアを行う当会の活動紹介と、「傾聴について」のお話をします。

■定員: 20名 ■参加費: 無料

13:00▶15:00

**EM石けん作り**

(実施: 仙台生ごみリサイクルネットワーク)

食廃油と米のとぎ汁EM発酵液を使って環境にやさしい廃油固形石けんを作ります。

■定員: 8名 ■参加費: 500円

■持ち物: 500ml牛乳パック

### 第2会議室

10:30▶12:30

**アイ(愛・私・会) フラワー**

(実施: フラワーセラピー研究会仙台地区)

オーストラリアのワイルドフラワーで「愛・私・会」を表現しましょう。

■定員: 20名 ■参加費: 500円

13:00▶15:00

**食育 育てる~食べるまで**

(実施: NPO法人とうほく食育実践協会)

食育普及活動に取り組む当会のこれまでの活動報告と、食育コンダクター養成講座を行います。

■定員: 30名 ■参加費: 300円

### 研修室

10:30▶12:30

**学生・社会人のNPOとの関わり方**

**~ケニアとアマニと、時々わたし~**

(実施: NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ)

国際交流・協力、NPO活動に興味がある方へ、当団体スタッフが一步を踏み出す機会を提供します。

■定員: 18名 ■参加費: 無料

13:00▶15:00

**心の障がいについて共に学ぶ**

(実施: NPO法人シャロームの会)

当事者のDVDメッセージを通して、心の障がい者への関わり方を一緒に考えていきます。

■定員: 20名 ■参加費: 無料

## NPOの販売ブース

ショップスペースで、NPOがお店を開きます。毎年好評の廃油石けんや、アクセサリやポーチ、いろんな食品などのフェアトレード商品が並びます。



### 仙台生ごみリサイクルネットワーク

EM(有用微生物資材)入り食廃油石けんや無農薬長ねぎの販売

### NPO法人とうほく食育実践協会

フェアトレード商品(バナナ、かりんとう、オリーブオイル、コーヒー、塩など)や米粉パンやジャムの販売

### NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ

ケニアで運営している職業訓練所の卒業生たちが作成したアフリカの伝統的な布(カンガやキチング)を使用したポーチ、バッグ、洋服などの洋裁品や団体の長年のパートナーが作成したバナナ葉の民芸品やピーズ商品などの販売

主催: 宮城県(みやぎNPOプラザ) 企画・実施: NPO法人杜の伝言板ゆるる 問合せ: みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)